

マジで回想する1秒前

梗概

小学生の中井まさる(7)は橋の上でトラックに轢かれそうになる。死に瀕したまさるの脳裏に走馬灯が駆け巡り、自分を残して消えた父直樹(32)の姿が蘇る。

まさるを庇おうとトラックの前に躍り出た秋山(22)もまた走馬灯を体験する。高校の恩師である直樹との記憶が蘇り、直樹がまさるを捨てた事実が明るみになる。

トラック運転手の吉村(58)もハンドルを切って橋の欄干に激突したことで走馬灯を体験する。知人である誠(30)の息子直樹との記憶が蘇り、直樹が誠から虐待を受けていた事実が明るみになる。

しかし、誠もまた幼少期に父親から虐待を受けており、直樹への虐待はその影響からだっ

た。直樹がまさるの前から消えたのは、そんな呪われた連鎖を自分の代で断ち切るためだった。

人々に走馬灯をもたらしたトラックは川へ落ち、船に直撃する。船に乗っていたのは誠の父総一郎(80)。総一郎は親子三代を苦しめた報いを思わぬ形で受けるのだった。

《登場人物》

- 中井まさる (1) (3) (5) (7) 小学生
- 秋山 (1) (7) (12) (15) (22) 大学生
- 市川 (30) (38) フリーター
- 吉村 (1) (10) (25) (30) (35) (50) (58)
トラックの運転手
- 中井総一郎 (1) (7) (15) (18) (30) (40)
(45) (50) (80) まさるの曾祖父
- 中井直樹 (7) (25) (32) まさるの父親
- 中井誠 (7) (17) (25) (30) まさるの祖
父
- あいの (23) (24) (26) (28) (30) まさる
の母親
- りな (15) (18) 秋山の彼女
- 幸子 (25) 吉村の妻

○川に架かった大きな橋

車が行き交っている。

中井まさる（一）、歩道を歩いている。

まさるの手にはアイスの当たり棒が握られて
いている。

橋の向こうにコンビニがみえる。

まさる、コンビニに気づき、とっさに車
道を横切ろうとする。

まさるが車道に飛び出すと、目の前から
トラックが猛スピードでやってくる。

トラックのクラクションが鳴り響く。

まさる、アイスの棒を持ったままトラッ
クの前に立ち尽くす。

以下、フラッシュバックが続く

○まさるの家・リビング

テレビからアンパンマンのアニメが流れ
ている。

まさる（一）、テレビを指さし、

まさる「(舌足らずに)アンパンマン！」

あいの(24)、「やってくる。」

あいの「(喜ぶ)すごいじゃない！ アンパンマンっていえるようになったの！ ママは？ ママっていつてごらん」

まさる「(無言)」

あいの「あれは？ (とテレビを指さす)」

まさる「アンパンマン！」

○同・台所

まさるの声「ママ！」

まさる(3)、「バタバタ駆けてくる。」

まさる、「洗い物をしているあいの(26)の体にしがみつく。」

まさる「大好き」

あいの「もー甘えん坊さんなんだから」

○道

まさる(5)、「あいの(28)と歩いている。」

目の前に若い夫婦と小さな女の子。

三人、仲良く手をつないで歩いている。

女の子「ママとパパはどうして結婚したの？」

まさる、三人の姿をじっと見つめる。

○まさるの家・リビング

まさる、あいの、ホットケーキを食べている。

まさる「ママ。うちのパパはどこ？」

あいの「…」

あいの、手をとめて寂しく微笑む。

○夜空

あいのの声「パパはお星様になったの」

まさる、切ない顔で星空を見上げる。

○まさるの家・リビング

まさる（こ）、当たりとかかれたアイスの棒を振りかざす。

まさる「ママ！ ママ！」

まさる、テーブルでノートパソコンをい

じっているあいの（30）のもとへ駆け寄る。

まさる「あたり！」

あいの「そう。よかったね」

まさる「取り替えてくる！」

あいの「車に気をつけてね」

フラッシュバック、おわり

○（戻って）橋（5秒前）

秋山（17）、自転車をこいでいる。

正面にまさるの姿。

まさる、車道へ飛び出してゆく。

秋山「（見て）?!」

トラックのクラクションが鳴り響く。

秋山、自転車から飛び降りる。

秋山、まさるのもとへと疾走する。

秋山、棒立ちのまさるを抱きかかえると、

反対車線へ飛び込む。

秋山、何とかトラックをかわす。

が、反対車線から別のトラックがやって

捕まえる。

捕まえたセミを見て、

秋山「(得意げな顔)」

○サッカーグラウンド

サッカーの試合中。

秋山(12)、ドリブルしている。

背中に見える背番号は10。

秋山、シュート。

ボールがゴールネットを揺さぶる。

秋山、ガッツポーズ。

○高校・グラウンド

秋山(15)、サッカーの練習をしている。

声「秋山！」

秋山、振り向く。

コーチの直樹(25)、立っている。

秋山、ダッシュで直樹のもとに行く。

直樹「今度の試合、レギュラーでいく。頼んだぞ」

秋山「(嬉しい) はい！」

○同・校舎裏

秋山とりな(15)が立っている。

秋山、緊張した様子で、

秋山「県大会、必ず勝つから…優勝したら俺と付き合ってほしい！」

りな「…はい」

二人「(笑顔)」

○道

秋山とりな、歩いている。

目の前に直樹と身重のあいの(22)の姿。

秋山「コーチ！」

直樹、秋山に気づく。

直樹、手で挨拶する。

直樹とあいの、去っていく。

りな「お似合いの夫婦だね」

秋山「うん」

りな、そっと手を伸ばして秋山の手を握

る。

秋山、顔を真っ赤にする。

○秋山の部屋

秋山とりな、ベッドに腰かけている。

二人、そっと口づけを交わす。

○秋山の部屋

秋山（18）とりな（18）、ベッドで激しく

抱き合っている。

○秋山の部屋

秋山（19）と年増の女、ベッドで激しく

抱き合っている。

○秋山の部屋

秋山（20）とフランス人の女二人、ベッ

ドゥ3Pしている。

○ホテル会場

「八王子高校第55期生 同窓会」の看板。

秋山、仲間と酒を飲んでいる。

秋山、直樹を見つける。

秋山「コーチ！」

秋山、直樹のもとへいく。

秋山「お久しぶりです」

直樹「おう。秋山か」

秋山「奥さんとお子さん、元気っすか？」

直樹、酒を一気にあおる。

秋山「コーチ？」

直樹「…息子は、とっくに捨てちまったよ」

秋山「…？」

フラッシュバック、おわり

○（戻って）橋（5秒前）

市川（38）、歩道を歩いている。

前方からトラックのクラクションの音。

市川「？」

別のトラックからもクラクションの音。

市川、思わず立ち止まる。

トラック、まさると秋山をよけるために
ハンドルを切る。

トラック、市川のほうへ突っ込んでくる。

市川、棒立ちで動けない。

以下、フラッシュバック

○マクドナルド・店内

市川(30)、窓際の席でひとり黙々とチー
ズバーガーを食べている。

市川「(味わって) うん」

フラッシュバック、おわり

○(戻って)トラックの車内(5秒前)

吉村(58)、運転している。

突然、反対車線にまさるが飛び込んでく
る。

○吉村の家・居間

ブラウン管テレビからアンパンマンのアニメが流れている。

吉村（二）、テレビを指さし、

吉村「（舌足らずに）アンパンマン！」

○空き地

吉村（一〇）、仲間とサッカーをしている。

○披露宴会場

花婿姿の吉村（二五）、花嫁の愛子（二五）と並んで座っている。

誠（二五）、マイクの前に立っている。

誠「吉村くん、愛子さん、結婚おめでとう。こうして畏まったままだと話しにくいので、いつも通りヨッシーと呼ばせてもらいます」
吉村「（笑う）」

○居酒屋

吉村（三〇）、誠（三〇）、飲んでいる。

吉村「誠。今日、直樹が青あぎ作って俺んとこにきたよ」

誠「イタズラしたんだ。しつげだよ」

吉村「殴ることがしつげか？」

誠「…」

吉村「おい。殴ることが子供のためかって聞いてんだ」

誠「(かっとなる)うるせえな！ そんなこと俺だってわかってんだよ！」

吉村「…」

誠「(酒をあおる)」

○吉村の家・門

吉村、玄関から出てくる。

直樹(一)、青あぎを作って立っている。

吉村「…また誠に殴られたのか」

直樹「お父さんは僕のことを嫌いなんだろうか」

吉村、直樹を抱きしめる。

○誠の家・和室

喪服姿の吉村(35)、棺桶の前に立っている。

棺桶の中の誠の死に顔を見つめて、

吉村「バカ野郎…」

○吉村の家・居間

吉村(50)、直樹(25)、向き合っている。

直樹「一緒になりたいと思う人ができました」

吉村「そうか。おめでとう」

直樹「(微笑む)」

吉村「俺には子供ができなかった。お前を息子同然だと思ってる」

直樹「はい」

吉村「(笑う)孫の顔がみれるのが楽しみだ」

フラッシュバックおわり

○(戻って)川(5秒前)

総一郎(80)、ボートに乗っている。

ボート、橋の下を通過する。

直後、ボートの真上に巨大な影が現れる。

総一郎「(見上げる)」

橋からトラックから落ちてくる。

総一郎「∴」

以下、フラッシュバックが続く

○総一郎の家・居間

白黒テレビからアンパンマンのアニメが流れている。

総一郎(一)、テレビを指さし、

総一郎「(歪んだ笑みで)バイキンマン」

○小学校・うさぎ小屋

総一郎(二)、うさぎを蹴り飛ばす。

○夜道

バイク、停まる。

総一郎(15)、現れて、ライダーを殴りつ

ける。

ライダー、地面に転げ落ちる。

総一郎、バイクを盗んで走り出す。

○夜の校舎

総一郎、金属バットを手に窓ガラスを壊して回る。

○雑木林

女、息を切らして逃げる。

総一郎(18)、舌なめずりで追いかける。

○総一郎の家・居間

総一郎(30)、缶ビールをあおる。

缶ビールが空になる。

総一郎「(叫ぶ) 誠！ 酒買ってこい！」

誠(7)、近くで宿題をしている。

総一郎「酒買ってこいっていつてんだ！」

総一郎、誠を足蹴にする。

総一郎、怒りに任せてしつこく蹴る。

誠、呻く。

○総一郎の家・玄関

誠（17）、ポストンバッグを抱え、靴を履いている。

総一郎（40）、背後から、

総一郎「どこへいく？」

誠「この家から出る」

総一郎「：そうかい、勝手にしろ」

誠、総一郎を睨みつける。

誠「俺は絶対にあんたのようにはならない」

○総一郎の家・居間

総一郎（45）、缶ビールをあおる。

○雑木林

若い女、息を切らして逃げる。

総一郎、舌なめずりで追いかける。

○総一郎の家・居間

総一郎（50）、缶ビールをあおる。

○雑木林

フランス人の女、息を切らして逃げる。

総一郎、舌なめずりで追いかける。

○河原

総一郎（80）、ワンカップ王関を飲んでい
る。

近くで直樹（32）、佇んでいる。

総一郎、直樹のもとへいく。

総一郎「最近、よくみかけるな」

直樹「（軽く会釈する）」

総一郎「若いのに悩みか？」

直樹「…」

総一郎、ワンカップを差しだし、

総一郎「飲むか？」

直樹「（首を振る）」

総一郎「まア座れ」

総一郎、座る。

直樹、座る。

総一郎「俺ア80年生きた。やりたいことだけをやって生きた。本望だ。それでいいと思ってる。そうじゃなきゃ生まれた甲斐がねえ。俺からいわせれば悩むなんざ馬鹿馬鹿しい」

直樹「…息子を殴りました」

総一郎「…」

直樹「俺は親父に毎日のように殴られてた。だから俺は親父のようにはならないと誓った。でも、俺も息子を殴った。だから、自分自身が怖くて、息子を捨てて逃げました」

総一郎「それで、逃げてどうする」

直樹「堪えます」

総一郎「…」

直樹「息子の幸せのために、じっと堪えます」

直樹、立つ。

直樹、去っていく。

フラッシュバック、おわり

○（戻って）川

総一郎、落下するトラックを見上げてい
る。

衝突音とともに暗闇が訪れる。

○まさるの家・リビング（翌日）

テレビからニュースが流れている。

アナウンサーの声「昨日、橋からトラックが
転落する事故がありました。トラックは川を
渡っていたボートに直撃し、ボートに乗って
いた中井総一郎さんが死亡。トラックの運転
手はケガを負いましたが、命に別状のないと
のことです」

（おわり）